

VINEYARD DATA

- 主な栽培品種：シルヴァナー、ツヴァイゲルト、パッカス、ピノグリ、他
- 生産本数：約2,000本/年 ●栽培面積：2ha
- ファーストヴィンテージ：2016年
- ラインナップ：ヒノデタンケ プラン/750ml
ヒノデタンケ ルージュ/750ml

千葉ヴィンヤード

- 所 非公開 園 非公開
- ☎ 非公開 図 非公開
- ☑ 非公開



千葉さん夫妻

<ヒノデタンケ プラン/750ml>



生き生きしたブドウが与える
安らぎの味

VINEYARD DATA

畑の見学 SHOP

- 主な栽培品種：ソーヴィニヨン・ブラン、ピノ・ノワール
- 生産本数：800本/年 ●栽培面積：1.5ha
- ファーストヴィンテージ：2018年
- ラインナップ：Grace du Ranch/750ml
- 購入方法：直営ショップ・電話・ショートメール

東豊沼高橋農場 すながわワインズ

(畑:ROWP豊沼ヴィンヤード)

- 所 ・ブドウ畑/北海道砂川市東豊沼352番地
ROWP豊沼ヴィンヤード
・事務所ならびに販売所/
北海道砂川市西1条北4丁目1番17号
- ☎ 日出から日没まで ☎ 080-1975-3604
- HP <https://sunagawawines.stores.jp>
- IG <https://www.instagram.com/takahashi.generalfarm/>

<Grace du Ranch/750ml>



畑の力を生かしたブドウで
造るワイン

千葉ヴィンヤード

Chiba Vineyard

千葉信児さんのワイン造りは、ドイツにいた頃、たまたまブドウ畑で働き、その楽しさに感慨を受けたことが始まりです。2014年に奥様の恵理さんとともに、北海道岩見沢市内の土地を開墾し、最初に植えたのがピノ・ノワールなど6品種、660本です。今では4,000本になり、これからさらに増やしていく予定です。

「手段に拘ることなく、畑や樹をよく観て、望むことに応えてあげれば、樹は伸び伸びと生長してくれると思う。早く畑や樹のことを理解してあげたい」と語ります。

また、恵理さんは「ワインは、どのような人がどのような気持ちで造ったのか、人柄が出ますよね。飲んだ人が穏やかな気持ちで味わえるワインを造りたいです」と語ります。

東豊沼高橋農場 すながわワインズ

Kiyashi Toyonuma Takahashi Farm
Sunagawa Wines

北海道砂川市で三代続く酪農を営んでいた高橋祥二さんが、牧場跡地で醸造用ブドウ栽培を始めたのは2016年のこと。酪農学園大学の学生の力も借りながら1.5haの圃場でソーヴィニヨン・ブラン等を育て、10Rワイナリーに醸造を委託。2018年に初ヴィンテージをリリースしました。

2023年には、当時手伝っていた大学生の一人、高橋里佳さんが卒業して事業を引き継ぎ、「東豊沼高橋農場すながわワインズ」としてスタート。これまでのブドウ栽培とワイン造りに加え、ブドウジュースの販売をインターネットで行うなど事業を少しずつ拡大し、将来的にはワイナリーを目指しています。高橋さんは「畑の力を生かして、際立った酸味とさわやかな味わいといった北海道らしさを出せるワイン造りをしていきたい」と話します。

COLUMN

地域との交流、 地域の特色ある チーズづくり

北海道岩見沢農業高等学校



北海道岩見沢農業高等学校は、平成25年から令和元年まで文部科学省より、科学技術系人材育成に資する高校として「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受け、特色ある学習を展開しました。

7つある学科のうち食品科学科では、岩見沢市内のワイナリーや酪農学園大学(江別市)の協力を得て、チーズの製造技術について研究を進めてきました。

生徒が製造したチーズとその取り組みは日本のみならず世界的にも高い評価を受けています。

「空知」ってどんな？

「空知」とは、北海道の道央エリアにある、10の市と14の町からなる地域のこと。北海道の中央部よりやや西方、札幌市と旭川市の間に位置する「空知」は、札幌圏・旭川圏への通勤が可能で、空港や鉄道などにアクセスしやすい地域です。



出典：北海道空知地域創生協議会